

—produced by RSP Project —



SDH通信 Vol.2

～ 施設専門外来 Before After ～

※SDH=湘南第一病院

～ 発行経緯 ～

“地域連携2.0～現場間のリレーションを高める～”ことを病院として掲げ、その企画実行部隊であるRSPプロジェクト（連携を・真剣に・プレイする）を中心に推進を図って参りました。

コロナ禍により、2ヶ月に1度の情報交換の場である、当院主催の連携会も多分に漏れず自粛と判断をいたしました。

その結果、「今ご施設がどのような状況か分からない」
更に言うと、「ご利用者様の取り巻く環境などの情報が入ってこない！」
という事態が当院で発生いたしました。

同時に、ご施設からも「病院の状況が分からない」というお声を多く頂きました。

このような状況を鑑みて、私達プロジェクトメンバーはどうか“病院”と“施設”の情報を繋ぐ方法はないものかと直ぐにミーティングを行い、一つの結論に至りました。

それがこの“SDH通信”です。

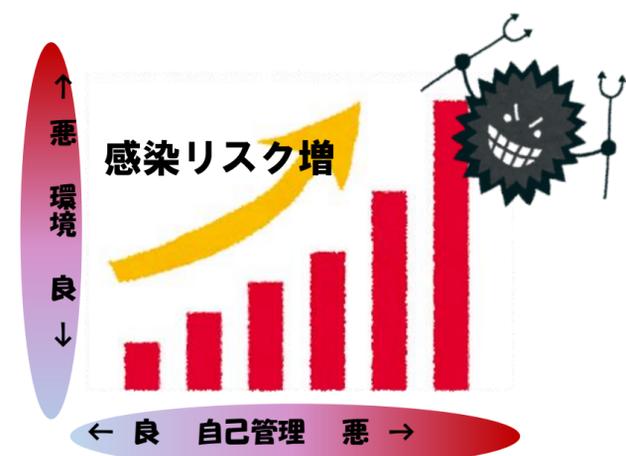
発行するにあたり、改めてご施設にヒアリングしたところ、
「新型コロナウイルスにご利用者様・職員が感染したらどうしたら良いのか」というお声を多く頂いたことから、介護施設における情報の流通をめぐる深刻な現状が分かりました。

そこで前回の創刊号では皆様より多くの反響を頂きましたので、
今回も引き続き新型コロナウイルス感染症をテーマに、
各種データを交えながら当院の“リアル”をご紹介します。

※新型コロナウイルス=コロナ

～ 感染メカニズム ～

予断を許さない今日この頃
新型コロナウイルスとの共存を
求められる中“三密”という環境を
どのように捉えていますか？



“三密”という環境に対して過敏になりすぎていませんか？
三密はあくまでも感染リスクの高い環境条件であって、
必ずしも感染するというものではありません。
仮に環境が悪くても、自己管理をしっかり行うことで、
感染リスクの低下に努めましょう。

施設専門外来から人が消えた！？

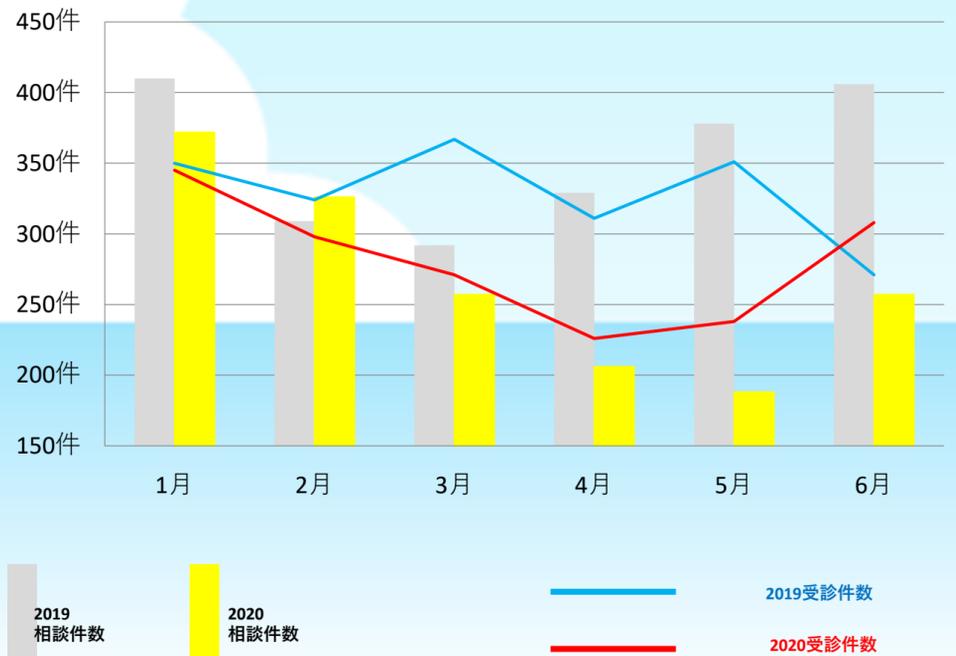
電話相談件数激減

日本では、2月20日に新型コロナウイルス感染症対策本部が設置され4月7日～5月25日にかけて緊急事態宣言が発令されました。

当院やご施設では、外出自粛のアナウンスや県内にある病院の院内感染の発表に伴い、危機感が一気に高まったこの時期、ご施設からのご受診・ご入院の電話相談件数は昨年比で100件以上も激減。さらに施設専門外来の受診もコロナ禍では約半数に減少しました。

ご施設、ご家族の皆様が病院受診に対しより一層不安感が高まった事が伺えます。

施設専門外来：相談件数



受診相談ランキング

コロナ前

コロナ禍

- | | |
|---------|-------------|
| ①先程から発熱 | ①数日前から発熱 |
| ②風邪症状 | ②血中酸素濃度の低下 |
| ③食事量の低下 | ③高熱 (RSP調べ) |

相談内容重症化

電話相談内容も顕著に変化が見られました。コロナ前では、発症した時点での相談が多く、コロナ禍では最長で「一か月前からの症状」や、「様子を見た結果重症化した病状」のご相談が相次いで見られました。またコロナ禍のランク外には、「薬処方のみ」や、「施設での経過観察」のご相談が多く、受診相談件数に対し、施設専門外来の受診件数が少なくなった理由が分かります。

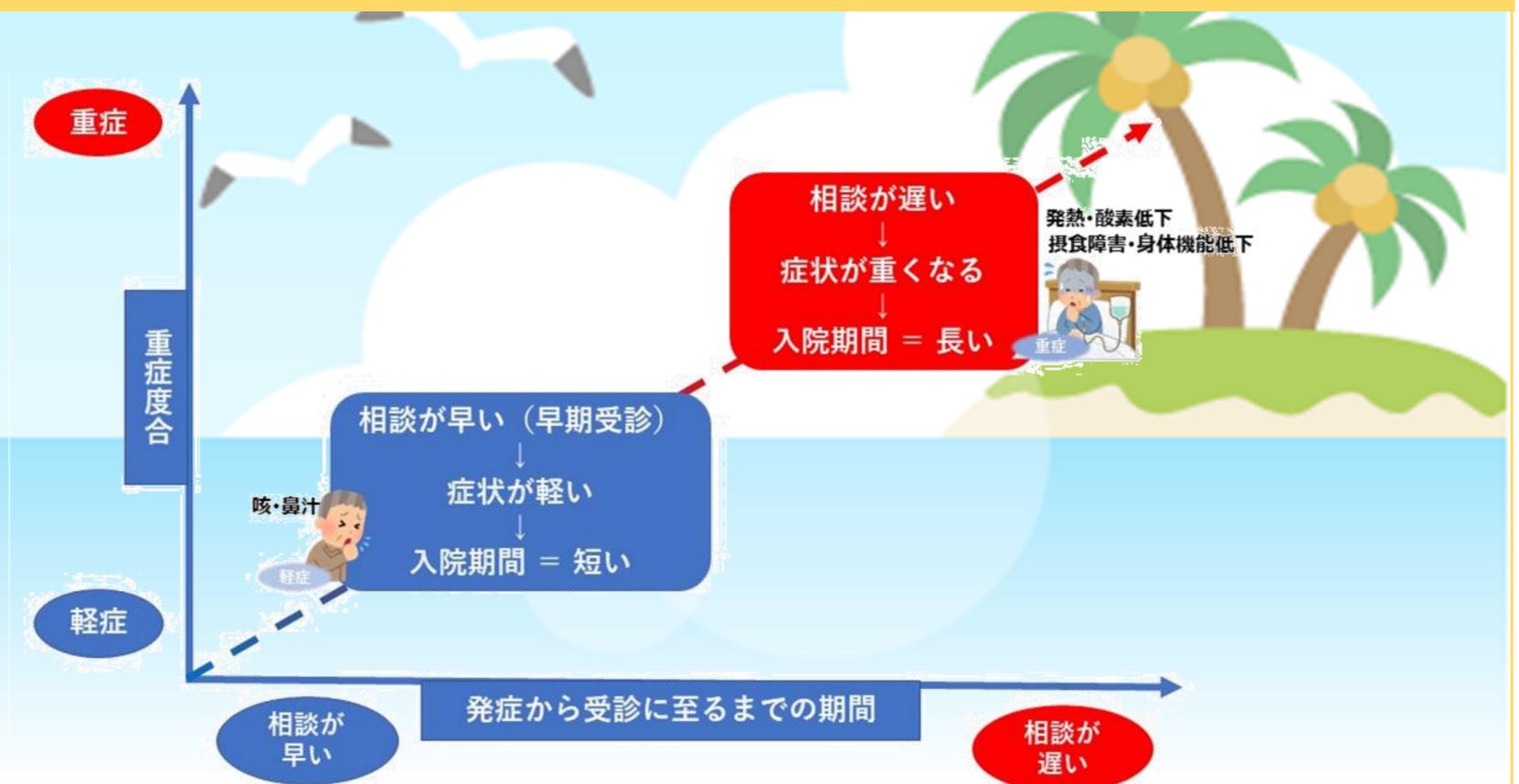
治療期間の長期化

受診時に重症化した状態の患者様の治療には、長い期間を要します。右図は当院の、1人あたりの入院期間の日数を指し示す平均値です。約2日間の長期化という、短い期間のように感じますが、あくまでも平均値ですので、病態により更に長期化したケースもあります。また発症してから症状が緩和するまでの期間が2日延びたと考えると、その負担は決して小さくはありません。

平均在院日数



早期受診・早期退院の推奨



高齢者の身体は加齢により、病気に罹りやすい、重症化しやすい、治りにくいといった特徴があります。受診を惜しんで治療が遅くなればなるほど、症状は重くなり、入院期間が長くなり、機能低下が進んでしまうという悪循環を招いてしまいます。

当院は、一貫して**早期受診（早期の相談）**をご施設へ推奨し、結果的に**早期の退院**を実現し一日でも早く日常生活にお戻り頂けるよう支援を続けています。

当院の取り組み

当院では昨今の感染症対策の一環として、一般の来院患者様と発熱・呼吸器症状のある患者様との接触を極力避けるため【プライムタイム】【ゾーニング】を設けさせて頂いております。

【プライムタイム】

発熱・呼吸器症状等のある施設専門外来患者様のご受診について、原則的に、**10:30-15:00**の時間帯でご案内するよう努めると共に、同一時間帯の予約人数を調整することで、病状に応じた時間的隔離と待合室での3密回避を図っております。

※病状に伴い、プライムタイム外でのご受診もお受けしております。



【ゾーニング】

一般患者様は通常通り正面玄関より入って頂き、検温・消毒・問診させて頂いております。発熱・呼吸器症状のある患者様は、到着後速やかに当院の看護師がお車まで伺い救急入口より検査・受診していただきます。また検査・受診の導線を分けてご案内しています。





～ 編集後記 ～

ご施設や病院を取り巻く環境には違いがあり、それぞれ感染症対策の実施には多くの制限があります。

当院はその制限の中で、来院される皆様が安心していただけるよう模索し続けております。その一つとして、一般患者様と感染症疑い患者様の接触を避けるために、今回ご紹介した、時間的隔離と空間的隔離を設けさせて頂きました。

その結果、来院される皆様からは、「以前にも増して待ち時間が短い！！」「そんな対策までやってくれているのか！！」という嬉しい声を頂いております。

私たちだけで行う、感染症対策には限界があると思います。来院される皆様のご協力があってこそ安心して来院していただける環境づくりにつながっております。

新型コロナウイルス感染症の拡大は衰えることなく、不安な日々をお過ごしの方も多いことと思います。

当院に関わる方々が、本誌を読んで少しでも安心して頂きたい、そのような思いでRSPプロジェクトでは編集に当たってまいりました。

しつこいようですが一言、

「湘南第一病院は元気です！！」

感染防止対策には最善を尽くしておりますが、過剰に恐れること無く、ウイルスとの共生を図りながら、引き続き地域のご高齢者やその関係者の方々のために貢献してまいります。



お題「ヒーロー」

—by RSP Project—



湘南第一病院

〒252-0804

神奈川県藤沢市湘南台1-19-7

0466-44-7111 (代表)

0466-44-7113 (地域連携部直通)

<http://shonan-daiichi.jp/>

皆様に安心してご来院していただけるよう、ホームページにて新型コロナウイルスについてのお知らせを毎日更新しています。



Facebook



Instagram

